

Photo Space

記録・創造・交流のための

ロゴデザイン：富樫茂美

現代写真研究所

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-12 サブビル 5.6F

03-3359-7611 (Tel) 03-3355-1462 (Fax)

<http://www.genken.ac>

jimukyoku@genken.ac

責任編集 金瀬 胖

禁無断掲載 許可なく作品の使用はしないでください。



Winter 2022 vol.5 2022.2.12 発行



羽田の大看板 クライン残像

W・クラインはニューヨーク、モスクワ、ローマを撮り 1961 年、『TOKYO』を撮った。その中に羽田空港の周りの大きな看板の写像があり、強く記憶に残っている。とても気になっていることだけれど、写真になるものなのかと躊躇していることをズバリと見せられた感じがした。「NEW YORK」が発表された時はそれどころではなくて、世界の写真界を震撼させたのはご存知のとおり。ベートーベンやモーツァルトが流れている現場に突然ビートルズが現れたようなものだっただろう。そのビートルズはクラシックになった。日本ではブレ・ボケ・素粒子ばかりが有名になり流行った。クライン自身は、都市の写真を撮ることについてもっと大事なことを書いている。「写真家たちの（ブレッソンなどのこと）描くパリはいつもロマンティックで、霧にかすんでいて、そのうえ単一民族だ。しかし私にとってパリは、ニューヨークと同様に、いや恐ら

くそれ以上にメルティング・ポット（人種のるつぼ）である。国際的な都市で、多文化であり、まったくの多民族都市だ。ル・ペン（極右で知られるフランスの政治家）がなんというかとそれが事実である」。羽田の大看板を見て「なんということだ、オリンピック、経済成長への狂騒曲か」とつぶやいたという。

その大看板は民家にへばりつき、錆びた骨組み、管理のための梯子や足場板が見えた。1 月末、日曜撮影専科で行った時の写真、60 年目のクラインの残像。

教務主任 金瀬 胖



W・クライン「TOKYO」1961 より WEB 公開

CONTENTS

- 1 金瀬 胖
- 2 新沢 久美子
- 3 飯塚 明夫
- 4 宮本 遼
- 5 五味 明憲
- 6 宮本 壽男
- 7 山本 暁
- 8 赤松 ともい
- 9 榎本 佳恭
- 10 尾辻 弥寿雄
- 11 小久 保雅弘
- 12 藤田 篤男
- 13 栗原 恭子



東京トワイライト 新沢 久美子(尾辻ゼミ)

2021年11月。日本海沿いの街から甥の娘2人が上京してきた。
東京駅でおちあい、夕食を共にすることになった。この日の日没は午後
4時38分。KITTEビルの屋上庭園には子供連れやスマホ撮影する
若者たちがいた。暮れなずむ街。光と影に包まれてゆく。



隅田川一岸辺のクロニクル # 1

2009 年 11 月 4 日 16 時 48 分 06 秒

撮影：飯塚明夫（講師）

「クロニクル」は年代記の意味：撮影の年・月・日・時と、隅田川の岸辺に集う一人ひとりが心に刻む人生の年代記の意味を込めた。



異世界の空の下 宮本遼（講師）

子供の頃から空想の世界を描くことが好きだった。大人になるにつれ、それもしないようになっていくだろうと思っていたが、むしろ、現実の情報が増えるにつれて、その世界はより広がりを増していった。これも私のそばに写真があったおかげである。月と不思議な紅い星が、別世界の空を感じさせてくれた。



母国に思いを馳せて # Save Myanmar

五味明憲（講師）

ミンアウンフラインによる軍事クーデターからちょうど一年。いまだに、ミャンマー国内では国軍の独裁と弾圧が横行、犠牲者は1499人（1月28日、政治犯支援協会）にのぼります。

そもそも、昨年2月1日は、ミャンマー国民の期待を担うNLD（国民民主連盟）政権の二期目がスタートするはずでした。前年11月の総選挙でアウンサンスーチー氏率いるNLDは上下両院で民選総議員の83%にあたる396議席を獲得して圧勝。国軍系野党は軍政期の憲法で25%の軍人議席枠が保障されているにもかかわらず惨敗したのです。

周到に準備されたクーデターでした。軍はテレビ、電話、インターネットなどの通信回線を遮断、アウンサンスーチー氏をはじめ、大統領らそれまでの政権幹部とNLD指導者を一斉に拘束して、国軍出身の副大統領に「非常事態」を発令させ、ミンアウンフライン国軍司令官が全権を掌握したのでした。本来なら自国民を守るべき軍隊の殺戮行為に、国際社会の非難の声も上がっていますが、兵器や軍事技術を支える大国の影がつかまとうのも事実。

日本には約3万5千人のミャンマー人が暮らしていますが、20代の若者が半数を占めます。2011年の民政移管後、民主化が進む中で教育を受けて育った世代は、将来への夢を見出してきただけに、軍政とコロナに苦しむ母国救援のため、今日も街頭で訴えています。



海町 宮本壽男（講師／日曜撮影専科）

銚子市の海岸沿いの町を撮影しました。冬の陽射しの中で、ゆっくりと、そしてゆったりとした風景が展開していました。

生き生きとした女たち 山本暁（日曜撮影専科）

化粧品CMのような化粧をした女性達と違い、「自分を」を感じさせてくれる彼女たちです。

2016新春コンテスト特選作品 撮影 2016年



マスクのない顔に戻る前に、「人の顔を撮る・撮られること」「マスク」について考えたいと思うのですがまとまりません。是非、皆様のご意見をお聞かせいただけませんか。

山谷生活

(2018新春コンテスト特選作品)

赤松ともい (38期生)



墓地から見た生活



車に轢かれた時の傷



公園お洒落生活



路上スーパー

「死んだんじゃない?」。写真を持参して安否を問うと、こう呟いた人。死は日常。東京五輪前、山谷は外国人の宿泊候補地だった。商店街のアーケード鉄骨が撤去されると布団を敷いて寝ていた人がいなくなり、公園も荷物が整備されると自炊していた生活者はいなくなった。当時の生活区消滅。かわり、冬の夜、ひっそりと一人で陰になって蹲る人たちがいる。「昨日一人死んだよ」と声をかける地元の人。コロナ前のこと。無事息災を願う。



「ありし日の松之山」

榎本佳恭（入江ゼミ）

緑豊かで四季折々の山菜も豊富な新潟県松之山。穏やかな空気が流れ、ホタルも舞う。雨水や雪解け水などに依存する「天水田」の田んぼを維持継続した橋本紘二さん。

「橋本さん、おつかれさまでした。」

（2008、2010年撮影）



鎌倉・雪の朝夷奈切通

尾辻弥寿雄（講師）

TVの大河ドラマ「頼朝の13人」が始まった。何年かに一回起こる鎌倉ブームが来そうである。今回の主人公は北条義時、頼朝の妻、政子の弟である。スーパースターが数多く輩出した戦国時代や幕末と違い、スターが頼朝と義経以外にいないだけにどんな解釈でブームを作り上げるのか大いに楽しみである。

武士政権の確立という頼朝の思想を一番理解したのが政子と義時であるという解釈が一般的である。しかし、北条が頂点となり將軍を傀儡とし北条政権を確立するため、頼朝蜂起に馳せ参じた数多くの武蔵の豪族たちを滅ぼした。さらに、頼朝直系の2代將軍頼家、3代將軍実朝をも亡き者とした謀説が支配的なだけに、どういう解釈で義時をスーパースターに祭り上げるのか大いに見ものである。

小説は作者の解釈で幾つものストーリーが出来るが、写真は現実しか写らない。過去は見る側のイマジネーションに委ねる以外にないのである。義時に滅ぼされた和田義盛の三男、朝比奈三郎が一夜で作ったという伝説がある「朝夷奈切通」。武士の世を作るという坂東の侍たちのエネルギーが伝わるだろうか。



裏通り 小久保雅弘 (金瀬ゼミ)

コロナ禍で見てきた街の姿は、震災で壊れた街の姿に重なって見えた。

(上) スーパーの駐車場通り 茨城県古河市・2020年1月 (下) 高架下歩道 茨城県古河市・2021年5月



あの日から 10 年— 帰還困難区域、浪江の秋 — 藤田篤男 (オンラインワークショップ)

福島第一原子力発電所の事故から 10 年経過してこの地避難指示解除に向けて除染が始まったが事故当時のままのところ、除染が終わったところでも畑の柿の木は実をつけたままである。

げっしよく

栗原恭子（写真総合科）

十二月の月はなんて寒い
わたしは八十才になったら あつという間に八十三才になっていた
次は40年後だと聞いて ああ私は生きていないと思った
ガンバルのがきらいなのに なぜかこの夜は月を追っていた。

